

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年6月16日時点)

▶ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃**を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者約6万~7万人** (CSIS2月27日)

死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)

死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: **死者最大約1万3千人** (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: **死者8490人以上、負傷者1万4,244人以上** (OHCHR4月10日)

・ カナダのトルドー首相は、キーウを訪問し、ゼレンスキー大統領と会談。会談後の記者会見で、**空対空ミサイル「AIM-7」×287発、105ミリ砲弾×1万発**を供与する旨表明(6月10日)

・ ブリンケン米務長官は、「ウ」軍の反転攻勢に関し、「ウ」軍がどこへ向かっているか語るには時期尚早とした上で、「ウ」が露から領土を取り戻すことに成功し続けると米政府は確信していると発言(6月13日)

・ プーチン大統領は、露南部ソチで記者団に対し、「[「ウ」軍の] **攻撃が始まった**と確実に言える」、「この5日間、激しい戦闘が行われているが、敵はどの地域においても成功しなかった」と発言(6月9日)

・ プーチン大統領は、「反撃はどの正面でも成功しておらず、敵に大損害が出ている。**我々の損失は「ウ」軍の10分の1ほど**とし、「**「ウ」軍は160両以上の戦車や360両以上の装甲車を損失**。これは外国から供与された装備品の25~30%に相当する」と発言(6月13日)

・ プーチン大統領は、露南部ソチでベラルーシのルカシェンコ大統領と会談し、**戦術核兵器のベラルーシへの配備**について、**7月7日から7月8日に保管施設を完成させた後、直ちに開始**すると表明(6月9日)

・ ゼレンスキー大統領は、「関連する**反転攻勢と防御行動が行われている**」と発言(6月10日)

・ マリャル「ウ」国防次官は、「ウ」軍が**6.5km前進し、90km²の領土を奪還**、ザポリヅャ州西部で1つの集落を、ザポリヅャ州東部とドネツク州西部で6つの集落を解放したと発表(6月12日)

・ 「ウ」軍報道官は、「ウ」軍が**バフムト側背で反転攻勢を継続**しており、市郊外で**250~700メートル前進**したと発表(6月12日)

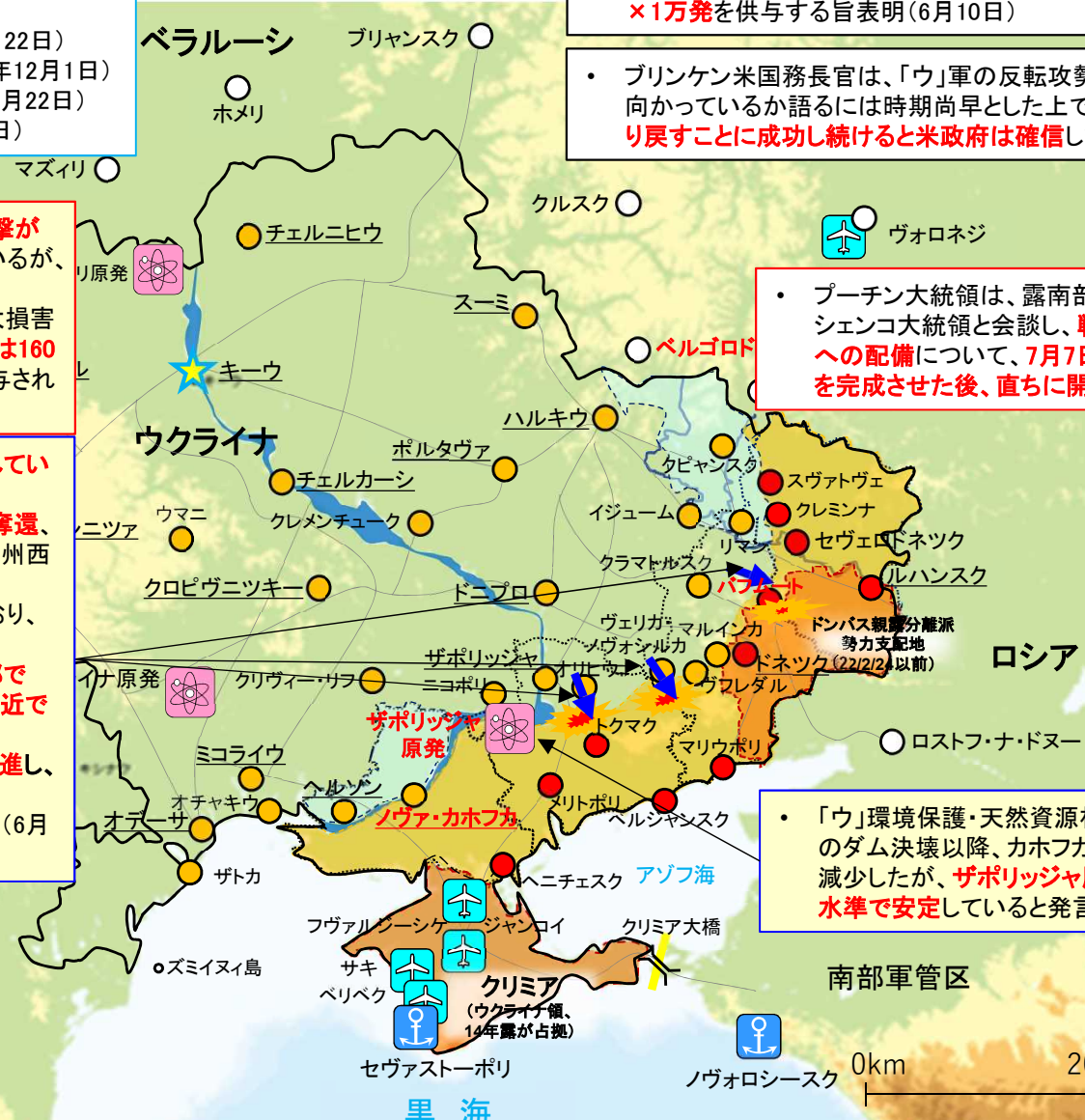
・ マリャル「ウ」国防次官は、「ウ」軍が**バフムト北東部で250m、南部で200メートル前進**し、過去24時間で**ザポリヅャ・ドネツク両州境付近で500m~1km前進**したと発表(6月13日)

・ マリャル「ウ」国防次官は、「ウ」軍が**バフムト方面で200~500m前進**し、**ザポリヅャ方面で300~350m前進**したと発表(6月14日)

・ 「ウ」軍報道官は、「ウ」軍が**ドネツク州西部で1km前進**した旨発表(6月15日)

・ 「ウ」環境保護・天然資源相は、カホフカ水力発電所のダム決壊以降、カホフカ貯水池の水量が75%近く減少したが、**ザポリヅャ原発の冷却池の推移は高水準で安定**していると発言(6月12日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等